

市政ウォッチング・市民会議 傍聴報告(要旨)。

() は報告者の注記等。

平成22年度 第2回 市・特別職報酬審議会

平成 23年1月11日(火)・午後2時00分～3時37分

傍聴者 は1名。5階 会議室にて

※ 委員には、事前に「議員の勤務表」が渡されていた、とのことだったので、傍聴者にも配布を求めた。そこでやっと、配布された

14:00 会長挨拶

初回時に、質問等あったら事務局へ連絡をと言っていたのだが、何かあったのか。

事務局 「議員年金制度」について、説明をと、あったので説明する。

国会議員は平成18年度に廃止された。地方議員は、地方公務員共済組合法で加入することになっている。12年の在職で年金の支給対象となる。掛け金と市の負担金で、議員が84800円/月、市が87450円/月を負担。又、議員はボーナスからも掛け金払っている。この年金は今年6月に枯渇するので政府は廃止法案を出すと言っている。

会長→ 今日、答申案作るところまでやりたい。上げる、据え置き、下げるの中から。しかし、時勢から、上げるのはどうかという感じがする。市民感情からは、いかがなものかと思う。話しは、据え置きか、下げる方向で話しを進めてよいか。

委員 異議なし

会長→ 先回後、他市の動きはあるか。

事務局 刈谷市は下げ済み、知多市は市長・副市長下げで議員据え置き、据え置きは、豊橋、一宮、半田、知立等。引き上げは田原市で市町村合併のため。審議中が9市、開催なしが16市。

会長→ 開催しないところもあるのか。

事務局 本市は毎年やっているが、隔年とか、必要に応じてという所もある。

委員 平成16年に市長は下げているが、議員は下げしていない。市民感情としては、色を付けて、下げてもらったほうがいいのか。毎日の出勤ではないし。気持ちねやってももらったほうがいいのか。

委員 同意見。昨年、医師会の三輪氏より発言あり、下げたらどうかとあった。「議員さんに聞いたら、従う、とのこと」。厳しい情勢の中で議員の方々も痛みを分かち合ってもらえれば。

委員 議員年金がなくなるということは、将来不安ということもある。だから、据え置きでもいいのではないのか。日頃から調査活動もやっておられるので。専門に勉強し、市民の意見を出してもらう必要もある。魅力ある仕事にするために報酬も必要。

委員 据え置きか、引き下げか、という所だが、市長のほうは据え置きでいいのではないのか。私が年金の事を調べてほしいと聞いたのは、議員のもらう額(年金)は多い。我々の厚生年金の2倍くらいある。しかも、その他の年金も並行してもらえらる。当局の話だと廃止になるとすれば、6月からは掛け金が引かれなくなり、議員の手取りは増える。又、非常勤だから拘束時間も少ない。議員年金は16/1000もあり、厚生年金8/1000の倍だ。今後半分は国民年金にかけるとしてもこの半分(84800円×

0. 5)の4万円くらいは下げてもいいのではないか。

委員 常勤の市長は下げなくてもよい。議員の勤務時間から考えると下げる時期である。十何年も下がっていないから。

委員 市長については同意見。地域手当の話しが去年も出たが、これも一緒にしたらどうか？ 議員は見直しされていない、ということで(引き下げで)余地はある。

委員 同意見である。

会長→ 現在までの議論の所、議員は下げるべきだが1名を除き多い。市長等については、そのままがほとんどということである。

委員 市長については、給料はそのままでいいが、退職手当は今回(審議の)対象となっていない。今後はそれも含めて検討してほしい。そちらの引き下げも検討を。

会長→ 議論は、大きく、常勤か、非常勤かで分かれている。

委員 地域手当を入れると退職手当にも影響するのか？

委員 (退職手当は)給料月額に支給をかけているので、これを一緒にすると金額が大きくなる。

委員 据え置きでいい。

委員 地域手当が下がっているのので据え置きでいいのではないか。

会長→ 常勤の市長等は据え置き、議員は下げるとの方向だが。

事務局 一般的に、議員のみ下げるということはあまりない。セットか、市長・副市長のみ下げることが多い。下げる場合だが。

会長→ トップが範を示すということも、市民感情として大事ではないか。厳しい時にはそれを分かち合うのが市民にもわかりやすいのではないか。

委員 先回聞いたが、職員が0.1%下げとなった。市長も考慮すべきでないか。

会長→ それらの差はどうなっているのか？

事務局 平成14年度に3%を特別条例で、16年度に本則で下げた。この3年間では、0.3%の差がある。

会長→ 上に立つ人としては、下の人の方が下がっていればやるべきだ。

委員 地域手当も下げており議員との差が大きい。

会長→ 双方下げる、という方向でいいか。

委員 異議なし。

部長 → 引き下げた場合だが、(現在)100円単位になっているが、1000円単位でやってほしい。県内では100円単位の所はないので。

会長→ 0.3%だといくらか？

事務局 → (ここで、用意していた試案ペーパー → 1~6の案で、0.1%~0.57%のものを配布)

委員 市長等は0.3%、議員は全て3000円の減で、年4万円くらいになるから、いいのではないか。

委員 私が言ったのは、月額(4万円減)のこと。年間ではない。

事務局 確かに手取りは増えるが、一種の貯蓄でもあるので、慎重に検討してほしい。

なお、現在受給中の方々への市の負担は残っていく。

会長→ (議員さんも)権利、権利と言っていたら、いずれペケになる。

部長 市長等も、議員も同じくらいにしてほしい。

会長→ 市長が自ら示してやったほうがいいのではないか。市長がこれから、もの言う時にも(そのほうが)いい。

委員 パーセントを同じにする、という意味か?

事務局 違う。金額が同じなら、率は違ってくる。

会長→ 市長4000円、副市長3000円、議員では、議長3000円、副議長及び一般議員は2000円でどうか。私案だが。

委員 議員さん達は何をしているのかわからない。議長は市長と一緒に動いているが。

事務局 見えないところで頑張っておられるのだと思う。

委員 議員からではなく、我々が言って行かねば。

会長→ 定数が減るということで、議員活動も良くなると思う。

委員 職員が0.3%なら同じがいいのではないか。

会長→ 市長等の退職金制度が全く違う。一期4年で2400万余だからいいのでは。

事務局 4000円減で、四捨五入すると、6の3500円0.34%となる。

会長→ 副市長より低い率ではダメ。部下にもの言う場合でも。

委員 副議長、一般議員も3000円減でどうか。

事務局 会長案はバランスがとれていると思う。

委員 私の意見は、市長等は据え置き、議員は下げる方向。それから考えると双方、議員と市長等との差が大きく、納得し難い。

事務局 市長3500円、副2600円、議長3000円、その他2000円でバランスとれる。

委員 議員は長い間据え置きになっていたから、市長等は減額が少ないほうがいい。

委員 議長を減額2000円、0.32%としたらどうか。

会長→ 皆さんの声が、差が少ないほうが良いとのことで私もトーンダウンする。

事務局 市長3500円、副市長2600円、議員は全て2000円減で0.3%に近い。

委員 議長は(任期が)1年だから3000円減でもいいのではないか。

会長→ まとめに入りたい。2000円グループにするか、3000円グループにするか。

委員 すると、副市長と率が逆転する。

委員 端数(100円)も出る

委員 端数を言い出すと難しい。%で一律でやるべきだ。

事務局 昔は5000円幅だったけど、最近は違って来た。100円単位が悪いというわけではない。

会長→ 問題は、副市長をどこで押さえるかだ。

事務局 副市長が3600円、0.42%減でもおかしくない。

委員 県下出の比較では、副市長が順位は高い。

会長→ 市長3500円・0.34%、副市長3600円・0.42%、議長は3000円・0.47%、副議長2000円・0.35%、議員2000円・0.38%

という 集約となったが、これでいいか。

委員 異議出ず。

事務局 「諮問の時期」もあるので、これも決めてもらいたい。

会長→ 一般職はいつからか？

事務局 22. 12. 1から。こちらは、議会に出さねばならないので、4月からの実施となるのかなと考えている。それ以降でも可。

会長→ 下げることを伸ばすということでは笑われちゃう。4月からということよいか。

委員 異議です。

事務局 結論をいただいたので、市長へ答申していただくということになる。2月2日から議会となるので、答申案を送付するので今月中に返事をもらいたい。その後、会長から市長へ答申してもらうことになる。

会長→ この額で市政が明るくなると思う。今後も見続けていきたい。

15:37 終了(部長挨拶)

市民の視点からの コメント

※ 今年も、ある種の「茶番劇」、「出来レース」であった。

※ 会議の途中で、待ってましたとばかりに当局から「試算表」が配られるという現実を市民はどう見るのだろうか。単なるセレモニーではない、もっと深刻な「市民が軽視されている」ということなのだ

※ 市長が委嘱した委員が「お墨付きを市長に与える」という、もう、これは「ブラックユーモア」である。

※ 早急に「公募市民と第三者」による実のある「審議会」にしていかなければならない。